

令和2年度における堺市緑の基本計画に係る各取組事業の進捗状況

資料 1-1

区分	達成状況	事業数	割合 (%)
5	計画を大きく上回って進めている	0	0%
4	計画を上回って進めている	1	2%
3	ほぼ計画どおりである	39	95%
2	計画が遅れている	1	2%
1	計画が大きく遅れている	0	0%

緑の基本計画掲載内容

施策番号	施策	事業	頁数	事業概要	達成目標 (目標年度：令和3年度)	令和2年度取組実績	令和2年度 決算見込額 (千円)	令和2 年度末 の計画 達成状 況	令和3年度取組内容	令和3年度 予算額 (千円)	担当部署
◆堺らしさを象徴する緑のシンボルエリアを育みます											
1-1	百舌鳥野 エリアの緑を育 みます	① 世界文化遺産の拠点 に相応しい大仙公園の 整備	28	世界文化遺産登録への機運が高まる百舌鳥・古市古墳群を活かした、百舌鳥野の風景づくりを行うため、各古墳への眺望を確保し、開放感のある景観を形成するとともに、古墳の緑と公園の緑が調和した、まとまりのある緑地空間を形成します。 また、シンボルパークに相応しい、魅力あふれる公園づくりを行うため、都市公園としての本来の機能を発揮するとともに、市民や国内外からの来訪者をもてなすために周辺の景観と調和した、飲食・物販施設や休憩施設などの充実を図ります。 ○上野芝町地区(3.0ha)の整備、百舌鳥夕雲町地区(1.5ha)の整備、大仙公園周遊ルートの設定・整備、駐車場の整備、大仙公園基本計画の改定	○上野芝町地区の整備を完了している ○大仙公園基本計画を改定し整備を推進する。	○上野芝地区第4期整備予定地のうち、寺山南山古墳区域を除いた範囲の基本設計の修正及び実施設計を行った。 ○大仙公園基本計画の改定について、各エリアごとの機能と施設整備のイメージ、植栽のイメージ断面図、短期～中期の変遷イメージ、古墳の見せ方と植栽の考え方(短期・中期)の案を作成した。12月にパブリックコメントを実施した。	975	3	○上野芝地区の令和4年度以降の工事に向けて、地元や関係機関と調整を行う。 ○大仙公園基本計画(改定案)について、本編及び概要版を作成する(5月策定完了)。 	0	公園緑地部
		② 大仙公園の魅力向上に 向けた管理運営	29	世界文化遺産登録への機運が高まる中、大仙公園の魅力向上と、安全・安心で快適な空間を提供するため、パークマネジメント計画を策定し、従来の行政主導の維持管理に加え、民間事業者による収益施設の運営などを取り入れ、一体的な管理運営を行う。 ○大仙公園パークマネジメント計画の策定 ○パークマネジメント計画に沿った維持管理運営の実施 ・民間活力による便益施設等の整備 ・来訪者をもてなしていただける便益施設の管理運営 ・各施設管理者が公園利用者の利便性の向上を図るため、公園運営について協議するための協議会を設置 ・古墳の保全・活用を意識した高密度な維持管理を実施 ・国内外からの来訪者が快適に利用できるように既存の案内サインの改善や新規整備を行う。	○大仙公園パークマネジメント計画を策定し計画に沿った管理運営を実施している。 ○園路が改修され、歩行者動線の安全性が確保されている。 ○案内サインの基本方針・配置計画を作成し適切に整備している	○堺市パークマネジメント計画(案)について、パブリックコメントを実施した。 ○OP-PFIの活用により、大仙公園の一部に民間活力を導入し、管理運営を開始した。(カフェいろは) ○日本庭園内の不陸解消を目的とした園路改修工事を行った。	17,571	3	○堺市パークマネジメント計画を策定する(8月策定完了)。 ○大仙公園に更なる民間活力を導入することなども踏まえ、事業者ヒアリングを行う。 ○平成29年度以降活用されていない花のボランティア活動の圃場跡地について、周辺環境と調和した再整備を目的とした設計・工事を行う予定。	11,890	公園緑地部
		③ 百舌鳥古墳群における 古墳の保存・活用	30	○現存する古墳44基を、市が主体的に調査から保存・整備に至る取組みを行います(宮内庁管理地は除く)。 ○史跡指定の要件とされる各古墳の保護すべき範囲を確定するとともに、世界文化遺産登録における『真实性・完全性の証明』の資料とするため、学識経験者で構成する調査検討会議の助言のもと、発掘調査等を実施します。 ○古墳を活かした百舌鳥野の風景を創出するため、現在の大仙公園の開設計画や点在する様々な形・規模の古墳の状況を踏まえ、植生の将来像を設定する。	○百舌鳥古墳群の群指定を受け、古墳整備を継続する。 ○大仙公園基本計画を改定し植生の将来像を設定する。	○いたすけ古墳の竹の伐採や、長塚古墳の危険木伐採など環境整備を実施した。 ○御廟表塚古墳の整備基本設計を実施した。 ○大仙公園基本計画の改定について、各エリアごとの機能と施設整備のイメージ、植栽のイメージ断面図、短期～中期の変遷イメージ、古墳の見せ方と植栽の考え方(短期・中期)の案を作成した。12月にパブリックコメントを実施した。	16,213	3	○御廟表塚古墳の整備実施設計を実施する。 ○長塚古墳の危険木伐採やいたすけ古墳の除草など環境整備を実施する。 ○大仙公園基本計画(改定案)について、本編及び概要版を作成する(5月策定完了)。	20,826	文化部 公園緑地部
		④ 仁徳天皇陵水環境 改善整備事業	31	歴史的資産である「百舌鳥・古市古墳群」の核となっている仁徳天皇陵古墳の水環境を改善するために、平成18年度から芦ヶ池に井戸を設置し導水を行ってまいりましたが、想定より水質が良くないために仁徳天皇陵古墳の水質改善に十分な効果が得られていません。さらなる水質改善対策を行うため、関係機関と協議し、水環境改善を図ります。	「臭気(悪臭)発生がないこと」及び、「植物プランクトンの異常増殖がないこと」を水質目標として、水環境の改善を図る。	既設管網を利用した雨水活用の実施に向け、関係機関との協議調整の為に雨天時の濘への流入系統や流入量等のデータを収集したが、降雨量及び降雨日数が少なかった。(9月及び10月 計3回)引き続きデータの収集及び分析を進めていく。	0	3	様々な雨天時の濘への流入系統や流入量等のデータを分析し、雨水の利活用による仁徳天皇陵の水質確保の為に具体的方策を決定する。	0	土木部
		⑤ 緑豊かな百舌鳥古墳群 と調和した景観の形成	31	世界文化遺産登録をめざすにふさわしいまちなみの形成に向け、百舌鳥古墳群周辺地域において、良好な景観の形成を図ります。 ○百舌鳥古墳群周辺景観地区における景観法に基づく認定制度の実施 ○屋外広告物許可制度の運用及び屋外広告物の適正化の推進 ○既存不適格広告物の撤去・改修に対する補助金制度の運用	○百舌鳥古墳群と調和した景観形成の推進 ○百舌鳥古墳群周辺景観地区認定制度における協議等を円滑かつ迅速に実施	○百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物許可制度の運用(令和2年度許可申請実績 計57件) ○百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の適正化の推進(令和2年度補助金活用適正化件数9件、自費改修件数2件) ○百舌鳥古墳群周辺景観地区における認定制度の実施(令和2年度 54件)	7,239	3	○百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物許可制度の運用 ○既存不適格広告物の撤去・改修に対する補助金制度の運用 ○百舌鳥古墳群周辺景観地区における認定制度の実施	5,000	都市計画部
1-2	環濠都心 エリアの緑を育 みます	① 堺旧港と周辺緑地・ 公園の整備と大浜体育 館建替え(武道館併設)	34	○歴史文化資源の更なる活用や港機能の再興、景観の配慮、大浜公園や旧堺燈台など堺旧港全体の回遊性の向上に取り組みます。また、大浜北町市有地では、民間事業者から事業提案を求め、海辺で憩い海を眺める魅力的なにぎわい施設や親水空間の整備を行います。 ・快適なアクセス確保(堺駅～堺旧港の遊歩道、サイン)、回遊性の確保(護岸～龍女神像～燈台～大浜公園)、緑地・公園の利用促進(旧堺燈台緑地や大浜公園の再整備)、海辺景観の向上、市有地活用によるにぎわい創出(歩行者用通路、連絡橋、緑地) ○大浜体育館は、昭和46年に本市が初めて建設しましたが、施設が老朽化しているため、本市の武道振興の拠点となる武道館を併設した体育館として建て替えることで、市民ニーズに応じたスポーツ環境を提供します。	○都心での海辺文化・にぎわいの再興 ○大浜体育館の供用開始	○大浜北町市有地における事業者からの提案施設の工事着手に向け、関係機関協議や協議に伴う設計検討等を行った。 ○新大浜体育館の建設工事を完了した。 	5,083,228	3	○大浜北町市有地における事業者からの提案施設の工事を進める。 ○大浜体育館・大浜武道館の供用を開始し、市民ニーズに応じたスポーツ環境を提供する。 	1,131,761	都市再生部 スポーツ部 公園緑地部

令和2年度における堺市緑の基本計画に係る各取組事業の進捗状況

資料1-1

区分	達成状況	事業数	割合(%)
5	計画を大きく上回って進めている	0	0%
4	計画を上回って進めている	1	2%
3	ほぼ計画どおりである	39	95%
2	計画が遅れている	1	2%
1	計画が大きく遅れている	0	0%

緑の基本計画掲載内容

施策番号	施策	事業	頁数	事業概要	達成目標 (目標年度：令和3年度)	令和2年度取組実績	令和2年度 決算見込額 (千円)	令和2 年度末 の計画 達成状 況	令和3年度取組内容	令和3年度 予算額 (千円)	担当部署
1-2	環濠都心 エリアの緑を育 みます	② 都心地域のまちづくりに寄与する緑化推進	35	<p>○市民交流広場整備事業 市役所前の広場及び国施設更新により発生する国有地を一体的に活用し、市民交流広場を整備します。これにより、市役所本庁舎・合同庁舎と広場が一体となって、本市の玄関口にふさわしいランドマークを形成するとともに、憩いの空間等を創出します。</p> <p>○大道筋（阪堺線沿い花壇）の緑化充実 大道筋において都心のにぎわい創出を目的に市民、事業者、行政が協働のもと適切に役割分担しながら緑化・花飾り（フラワーベース含む）を推進します。</p> <p>○堺東駅の駅前広場における緑化充実（花壇緑化） 駅前の顔づくりのため、花壇緑化などにより堺東駅の駅前広場における緑化充実を図ります。</p>	緑豊かな都心地域のまちづくりに寄与する。	<p>○市民交流広場の維持・管理を行った。</p> <p>○大道筋花壇・堺東駅前等フラワーベースにおける街なかの拠点花壇の市民等協働を取り入れた維持管理運営（人力除草、草花補植、灌水等）</p>	51,131	3	<p>○引き続き、市民交流広場の維持・管理を行う。</p> <p>○大道筋花壇については、市民協働や企業参画の手法について検討したが、大道筋の中央分離帯等の植栽帯という立地条件もあり、専門業者による委託のみの業務とする。ただし、有効で美しい街並みの景観維持は継続するものとする。</p> <p>○堺東駅前等のフラワーベースについては、市民協働や企業参画による地域に密着した花壇維持管理運営を行い魅力向上に努める。</p>	26,183	都市再生部 公園緑地部
		③ 環濠都市堺の再生事業	36	<p>環濠エリアにおけるまちづくりを公民連携で進め、都市魅力の向上や賑わいの創出を図り、市民の本市への愛着や誇りを醸成するとともに、交流人口・定住人口の増加をめざす。</p>	<p>○「環濠エリア」の認知度の向上</p> <p>○地元気運の醸成</p> <p>○回遊性の向上、賑わいの創出</p>	<p>○環濠エリアの認知度向上に向け、SNS等を活用した環濠エリアの情報発信を行い、また環濠茶論ホームページの更新を行った。</p> <p>○令和3年度の（仮称）堺環濠エリア魅力創造ビジョン策定に向け、ビジョンの検討を行った。</p> <p>○水辺を活かした賑わいと情報発信の拠点形成を図るため、基盤整備の詳細設計を実施した。</p>	3,988	3	<p>○HPやSNS等を活用して情報発信を行う。</p> <p>○環濠茶論による事業を行う。</p> <p>○堺環濠エリア魅力創造ビジョンを策定する。</p>	3,223	都市再生部
		④ 翁橋公園の整備	36	<p>市民会館の建替え事業と連携して、周辺住民の利用に供するとともに、周辺環境と調和した都市計画公園（0.19ha）を整備する。</p>	公園整備が完了している。	平成30年度末事業完了	0	3	事業完了のため、取組内容なし	0	公園緑地部
1-3	南部丘陵 エリアの緑を育 みます	① 緑地保全の推進	39	<p>○緑地保全制度を活用した緑地の確保 南部丘陵に残された緑地（樹林地）の多くが民有地であり、それら緑地を維持していくため、都市緑地法や堺市緑の保全と創出に関する条例等に基づく緑地保全制度を活用し、緑地の確保を図ります。</p> <p>○緑地の維持管理、継続保有への支援 緑地保全制度により指定された緑地について、継続保有の支援（保全協力金の支給や不法投棄対策の支援）を実施するとともに、土地所有者だけでなく市民、事業者の力を活かした維持管理を進めます。さらに、環境共生のまちづくりの視点による人と里地里山の関わりの再生や地域の振興・活性化に寄与する緑地の利用・活用を推進します。</p> <p>○人材育成・普及啓発の推進 緑地保全を推進するにあたって、維持管理活動を行う人材の育成、緑地保全の必要性等の啓発・PR、活動への表彰を行うなどの普及啓発を行います。</p> <p>○堺の森再生プロジェクトとプロモーション活動の実施 市民、事業者の力を活かした緑地の維持管理、利用・活用の推進を図るため、具体的な緑地保全事業を実施するとともに、南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信するためのプロモーション活動を実施します。</p>	<p>○緑地保全制度を活用した緑地を確保している。</p> <p>○市民や事業者が参画した緑地保全活動が進められている。 (緑地保全への参画団体数 平成28年度 3団体→6団体)</p>	<p>○特別緑地保全地区の買入れ請求等への対応及び今後の特別緑地保全地区の指定の進め方について検討した。</p> <p>また、今後の特別緑地保全地区の指定を進めるための境界確定等の作業を進めた。</p> <p>○令和3年2月に、市民緑地の協定（5,861㎡）を1件締結した。</p> <p>○「堺市緑の保全と創出に関する条例」に基づき、土地所有者と協定を結んでいる保全緑地において、毎年市民や企業と協力して実施している堺の森再生プロジェクトは、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。</p> <p>○平成27年度より敷地外緑地制度の運用を行っている。(令和2年度は0件)</p>	18,624	3	<p>○特別緑地保全地区の買入れ請求等への対応及び今後の特別緑地保全地区指定の進め方について計画策定。</p> <p>○緑地保全制度を活用した緑地確保の推進（特別緑地保全地区の指定、保全緑地の拡充）。</p> <p>○市民・事業者が参画している緑地保全活動（堺の森再生プロジェクト）を実施し新たな企業参画、人材育成を図る。</p> <p>○敷地外緑地の維持管理を実施。</p>	352,420	公園緑地部
		② 農空間の保全・活用	40	<p>遊休農地の解消に向けて、担い手農家への農地の利用集積を推進するほか、農業者が営農を再開するための農道・水路整備に対する支援、市民農園の整備に対する支援など、農地・農空間の保全と農地の有効活用に向けた事業を実施します。</p>	<p>○「大阪府都市農業の推進及び農空間の保全と活用に関する条例」により指定された農空間保全地域において、遊休農地が減少している（平成27年度17.4ha→平成32年度12ha以下）。</p> <p>○市民農園が増えている（市民農園開設数：3箇所/年）。</p>	<p>○コロナ禍で制限はあったが、農産物直売会の実施や小学校での出前講座などを通じて、農業への理解を深めることで、農業を身近に感じてもらえるよう取組を行った。</p> <p>○農地の活用につながる市民農園の新規開設を3か所で支援した。</p> <p>○取組を通じて、農空間保全地域内の遊休農地面積を目標以下の7.2haに抑制した。</p>	2,257	3	<p>○市民への農業の理解を深める活動は、継続して行う。</p> <p>○市民農園の新規開設に必要な経費の2/3（上限120万円）を補助することで3か所の新規開設を目標とする。</p>	3,600	農政部
		③ 公園墓地事業の推進	40	<p>時代の変化や墓地に対する考え方が変化するなかで、墓地に対する市民ニーズが多様化しており、里地里山環境にふさわしい堺らしい公園墓地のあり方を現在施設の活用を含めて検討し、持続可能な公園墓地事業を推進します。</p>	墓地事業の方向性が定まる	堺公園墓地のあり方検討支援業務にて、既存の平面墓地や納骨壇、また新たな施設として合葬式墓地の導入も含めた公園墓地全体のあり方についての基本構想を策定した。	4,787	3	堺公園墓地のあり方検討支援業務にて、基本構想に基づき、合葬式の整備計画を踏まえた基本計画を策定する。また、指定管理者制度の導入の可能性についても検討する。	7,180	公園緑地部

令和2年度における堺市緑の基本計画に係る各取組事業の進捗状況

資料1-1

区分	達成状況	事業数	割合(%)
5	計画を大きく上回って進めている	0	0%
4	計画を上回って進めている	1	2%
3	ほぼ計画どおりである	39	95%
2	計画が遅れている	1	2%
1	計画が大きく遅れている	0	0%

緑の基本計画掲載内容

施策番号	施策	事業	頁数	事業概要	達成目標 (目標年度：令和3年度)	令和2年度取組実績	令和2年度 決算見込額 (千円)	令和2 年度末 の計画 達成状 況	令和3年度取組内容	令和3年度 予算額 (千円)	担当部署
1-4	臨海エリアの緑を育みます	① 魅力あるウォーターフロントの形成	43	<p>○ふれあいビーチにおける生物多様性モニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長約160m、幅約30~40mの砂浜が概成し安全性を確認しながら、生物調査や水質調査を継続的に実施します。 <p>○水質、底質の改善による大阪湾の再生と環境負荷軽減への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北泊地や大和川河口部における浅場、砂浜、干潟など大阪湾再生のシンボルとなる自然環境の再生・創造、生物多様性の保全など <p>○市民活動・交流空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水際線における市民による環境・生涯教育、自然体験活動の実施 ・海釣り等の海洋性レクリエーションや大規模集客イベント等の海辺のにぎわい創出など 	環境創造のシンボル・魅力あるウォーターフロントの形成	大阪湾の陸奥部における水質改善や生物生息の場の創出のため造成した堺浜自然再生ふれあいビーチにおいて、その環境のモニタリングとして水質・生物調査を引き続き実施した。調査においてミズヒキゴカイ科等の生物が新たに観測された。地域に愛されるきれいな海や海岸環境の保全に取り組むため、ボランティアを含む企業等と連携し、清掃活動を実施した。	4,917	3	大阪湾の陸奥部における水質改善や生物生息の場の創出のため造成した堺浜自然再生ふれあいビーチにおいて、その環境のモニタリングとして水質・生物調査を引き続き実施する。地域に愛されるきれいな海や海岸環境の保全に取り組むため、ボランティアを含む企業等と連携し、清掃活動を実施する。	6,311	都市再生部
		② 堺第7-3区における共生の森づくり	44	<p>○共生の森づくり(事業主体：大阪府)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨海部にある堺第7-3区において府民参加による共生の森(約100ha)づくりを推進します。 <p>○緑の拠点整備(クールダム)事業(事業主体：堺市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生の森(約100ha)のうち、約5haの区域を大阪府から借り受け、市民・NPO・企業等との協働により植樹並びに除草等管理を行い、緑の拠点(クールダム)を創出します。 ・市民等の環境教育の場として活用します。 	市民等協働による良好な維持管理がされている。	堺第7-3区をフィールドに、市民等を対象に、廃棄物埋立地の成り立ちや埋立地を活用した森づくりについて学ぶ講座を実施した。平成31年3月31日の大阪府との協定終了に伴い、堺市エリアの管理は大阪府へ移管し、緑の拠点整備事業は完了している。	66	3	協定期間終了に伴い、取組内容なし	0	環境都市推進部
1-5	泉北ニュータウンエリアの緑を育みます	① 泉ヶ丘駅周辺における都市公園の整備	47	近畿大学医学部及び附属病院の開設を契機に、田園公園及び三原公園の再整備やビッグバン周辺地における公園整備により、泉ヶ丘駅周辺において魅力的な緑の空間を形成します。	都市公園の整備の推進	○三原公園再整備に向けた測量調査や実施設計に着手したほか、健康づくりに向けた健康遊具を設置 ○田園公園再整備に向けた基本設計を実施 ○三原しろくま公園・プレイロットの再整備に向けた実施設計を実施	40,172	3	○三原公園再整備に向けた実施設計を行い、1期工事の発注を行う。 ○田園公園再整備に向けた実施設計に着手する。 ○ビッグバンと泉ヶ丘公園の一体活用に向けて基本計画の検討に着手する。 ○三原台プレイロットの再整備(2か所)を実施する。 ○泉ヶ丘公園の基本設計、測量、文化財調査を行う。	267,665	公園緑地部 泉北ニュー デザイン推 進室
		② 原山公園再整備運営事業	47	屋外プールや新たに設置する屋内施設に合わせて公園全体を再整備し、子どもから高齢者まで多世代の方に運動やレクリエーション活動などを愉しんでもらえる公園とすることにより、梅・美木多駅周辺地域の賑わいの創出を図ります。	原山公園の再整備工事を完了している。	再整備工事を完了し、事業者による運営を開始した。	1,773,709	3	事業者による運営により、梅・美木多駅周辺地域の賑わいの創出を図る。	57,046	公園緑地部
		③ 泉北ニュータウンにおける緑道の魅力向上	48	泉北ニュータウンにおける緑道や都市緑地について、保全されてきた既存の樹林地やため池などを活かした管理手法を検討し、充実を図ります。 ・健全な樹木の生育環境を確保するための樹木更新 ・緑道や歴史文化資源をつなぐウォーキングマップの作成、日常生活の中での継続的な健康づくりの推進	泉ヶ丘・梅・光明池地区における緑道の樹木更新を進めている。	梅緑道(桃山台)について樹木更新工事を実施した。	19,026	3	光明池緑道(赤坂台・新檜尾台・鴨谷台・城山台)について樹木更新を行う。	30,804	公園緑地部 南区役所

令和2年度における堺市緑の基本計画に係る各取組事業の進捗状況

区分	達成状況	事業数	割合(%)
5	計画を大きく上回って進めている	0	0%
4	計画を上回って進めている	1	2%
3	ほぼ計画どおりである	39	95%
2	計画が遅れている	1	2%
1	計画が大きく遅れている	0	0%

資料 1-1

緑の基本計画掲載内容

施策番号	施策	事業	頁数	事業概要	達成目標 (目標年度：令和3年度)	令和2年度取組実績	令和2年度 決算見込額 (千円)	令和2 年度末 の計画 達成状 況	令和3年度取組内容	令和3年度 予算額 (千円)	担当部署
◆堺を支える緑の骨格を育みます											
2-1	拠点となる緑を育みます	① 地域の拠点となる公園の整備	53	広域避難地の機能を有し、地域の拠点となる都市公園（総合公園・運動公園）の整備推進を図るため、天神公園及び原池公園（第3期工区）の整備について検討を進めます。	○原池公園（第3期工区）の整備を完了している。 ○天神公園において事業認可区域内の用地取得を完了している。（用地取得率 平成28年度99%→100%）	○原池公園の大型遊具広場等の整備を完了した。 ○天神公園の基本設計を実施し、実施設計の発注を行った。用地取得率100%達成	338,203	3	○原池公園予定地において、植栽や園路、管理施設等の整備工事を実施する。 ○天神公園整備工事（第1期）として、基盤整備等を実施する。また、用地取得を完了させる。	830,048	公園緑地部 用地部
		② 大規模な都市公園のパークマネジメント	54	○大規模な都市公園のパークマネジメント計画に沿った管理運営 ・総合公園、運動公園や風致公園などの大規模な都市公園のうち、堺市を代表する、大仙公園、大浜公園、白鷺公園、荒山公園、金岡公園、原池公園、大蓮公園、西原公園において、それぞれに個別公園パークマネジメント計画を策定する。 ・民間事業者、地域団体、NPO法人などの多様な主体と連携し、公園の持つ機能を最大限に発揮した管理運営 ・「花の見どころ公園」など特色のある公園の魅力向上に向け、民間事業者等による情報発信や一体的な管理運営 ・スポーツ施設、教養施設など複数の管理者の連携による公園管理運営 ・公園を有効に活用するとともに、地域活性化や地域力向上に寄与する管理運営	○個別公園パークマネジメント計画を策定している。（平成29年度0公園→8公園） ○協議会を設置し、計画に沿った管理運営を実施している。 ○民間事業者等によるイベントが定期的に実施される公園がある	○堺市パークマネジメント計画（案）について、パブリックコメントを実施した。 OP-PFIの活用により、大蓮公園に民間活力を導入し、管理運営を開始。 ○原池公園全体を一括管理するために、P-PFIと指定管理制度を併用し、管理運営事業者を公募し、基本協定を締結した。	2211 【1-1-②で計上】	3	○堺市パークマネジメント計画を策定する（8月策定完了）。 ○原池公園に民間活力を導入し、施設整備を行い、管理運営を開始する。	0	公園緑地部
		③ 百舌鳥古墳群における古墳の保存・活用【再掲1-1-③】	55	○現存する古墳44基を、市が主体的に調査から保存・整備に至る取組みを行います（宮内庁管理地は除く）。 ○史跡指定の要件とされる各古墳の保護すべき範囲を確定するとともに、世界文化遺産登録における『真実性・完全性の証明』の資料とするため、学識経験者で構成する調査検討会議の助言のもと、発掘調査等を実施します。 ○古墳を活かした百舌鳥野の風景を創出するため、現在の大仙公園の開設計画や点在する様々な形・規模の古墳の状況を踏まえ、植生の将来像を設定する。	○百舌鳥古墳群の群指定を受け、古墳整備を継続する。 ○大仙公園基本計画を改定し植生の将来像を設定する。	○いたすけ古墳の竹の伐採や、長塚古墳の危険木伐採など環境整備を実施した。 ○御廟表塚古墳の整備基本設計を実施した。 ○大仙公園基本計画の改定について、各エリアごとの機能と施設整備のイメージ、植栽のイメージ断面図、短期～中期の変遷イメージ、古墳の見せ方と植栽の考え方（短期・中期）の案を作成した。12月にパブリックコメントを実施した。	16213 【1-1-③で計上】	3	○御廟表塚古墳の整備実施設計を実施する。 ○長塚古墳の危険木伐採やいたすけ古墳の除草など環境整備を実施する。 ○大仙公園基本計画（改定案）について、本編及び概要版を作成する（5月策定完了）。	20,826 【1-1-③で計上】	文化部 公園緑地部
		④ 親水コミュニティ活動支援事業	55	○ため池は、農業用水の供給源のほかにも地域の貴重な自然環境として、その重要性が再認識されています。そこで、地域住民が安らぎの場として主体的に活用するための支援を行います。 ○憩いや交流の場の整備、植栽及び活動支援のための原材料支給等を行います。	ため池の環境悪化の原因となっているヘドロ対策等とともに順次事業を実施している。	○堺市中区の巳ノ池において、地元自治会や水利組合と協議のうえ、憩いや交流の場として、遊歩道整備と花壇整備を行った。	2,500	3	令和3年度分における対象地区なし	0	農政部
2-2	軸となる緑を育みます	① 環濠都市堺の再生事業【再掲1-2-③】	59	環濠エリアにおけるまちづくりを公民連携で進め、都市魅力の向上や賑わいの創出を図り、市民の本市への愛着や誇りを醸成するとともに、交流人口・定住人口の増加をめざす。	○「環濠エリア」の認知度の向上 ○地元気運の醸成 ○回遊性の向上、賑わいの創出	○環濠エリアの認知度向上に向け、SNS等を活用した環濠エリアの情報発信を行い、また環濠茶論ホームページの更新を行った。 ○令和3年度の（仮称）堺環濠エリア魅力創造ビジョン策定に向け、ビジョンの検討を行った。 ○水辺を活かした賑わいと情報発信の拠点形成を図るため、基盤整備の詳細設計を実施した。	3,988 【1-2-③で計上】	3	OHPやSNS等を活用して情報発信を行う。 ○環濠茶論による事業を行う。 ○堺環濠エリア魅力創造ビジョンを策定する。	3,223 【1-2-③で計上】	都市再生部
		② 大和川周辺における水と緑を活かした空間づくり	59	浅香山浄水場のつつじを含めた浅香山周辺を花の見どころとし、集客機能を充実させ、本市の北縁を飾る花の拠点を明らかにし、観光拠点を創出する。 市民に花や緑とふれあえる空間を増やし、潤いと安らぎのある住みよい生活環境の創出とともに、市外から来られる方々のおもてなし空間を創出する。	市外から来られる方々のおもてなし空間を創出している。	ヒラドツツジ300本を補植したことにより、おもてなし空間を創出した。 	9,500	3	おもてなし空間を創出するため、浅香山緑道の拡幅工事の実施設計、基盤整備工事を行う。 ヒラドツツジ約100本の移植を行う。 緑道の除草・灌水などの維持管理を行う。	7,000	公園緑地部

令和2年度における堺市緑の基本計画に係る各取組事業の進捗状況

区分	達成状況	事業数	割合(%)
5	計画を大きく上回って進めている	0	0%
4	計画を上回って進めている	1	2%
3	ほぼ計画どおりである	39	95%
2	計画が遅れている	1	2%
1	計画が大きく遅れている	0	0%

資料1-1

緑の基本計画掲載内容

施策番号	施策	事業	頁数	事業概要	達成目標 (目標年度：令和3年度)	令和2年度取組実績	令和2年度 決算見込額 (千円)	令和2 年度末 の計画 達成状 況	令和3年度取組内容	令和3年度 予算額 (千円)	担当部署
◆身近なまちの緑を育みます											
3-1	身近な緑の保全を進めます	① 身近な樹木・樹林の保全	62	○保存樹木等の保全 「堺市緑の保全と創出に関する条例」に基づき、保存樹木等の保全に必要な支援等を行います。保存樹木等の保全について、樹木医の派遣等を行い、アドバイスを行います。 ○市民緑地制度の運用による緑の創出と保全 「都市緑地法」及び「堺市緑の保全と創出に関する条例」に基づく市民緑地制度を運用し、土地等の所有者が自らの土地を住民の利用に供する緑地又は緑化施設として提供することを支援・促進する。	○指定樹木163本、指定樹林12箇所(3.9ha)を維持している。 ○市民緑地制度を普及啓発し緑の創出・保全を推進している。	○所有者の意向や相談に対して保存樹木の現地調査と提案を行った(樹木医の派遣無し)。 ○所有者より届出のあった指定樹木2本を指定解除し、令和2年度末時点で指定樹木161本、指定樹林12箇所(3.9ha)となった。 ○令和3年2月に、市民緑地の協定(5,861㎡)を1件締結した。	0	3	○所有者管理である指定樹木や指定樹林の生育等の問題について市はそのアドバイスを行うため、引き続き樹木医等の派遣を行う。 ○市民緑地を公園として開設するため、協力者である地権者と協議を進める。	294	公園緑地部
		② 農空間の保全・活用【再掲1-3-②】	63	遊休農地の解消に向けて、担い手農家への農地の利用集積を推進するほか、農業者が営農を再開するための農道・水路整備に対する支援、市民農園の整備に対する支援など、農地・農空間の保全と農地の有効活用に向けた事業を実施します。	○「大阪府都市農業の推進及び農空間の保全と活用に関する条例」により指定された農空間保全地域において、遊休農地が減少している(平成27年度17.4ha→平成32年度12ha以下)。 ○市民農園が増えている(市民農園開設数：3箇所/年)。	○コロナ禍で制限はあったが、農産物直売会の実施や小学校での出前講座などを通じて、農業への理解を深めることで、農業を身近に感じてもらえるよう取組を行った。 ○農地の活用につながる市民農園の新規開設を3か所で支援した。 ○取組を通じて、農空間保全地域内の遊休農地面積を目標以下の7.2haに抑制した。	2,257 【1-3-②で計上】	3	○市民への農業の理解を深める活動は、継続して行う。 ○市民農園の新規開設に必要な経費の2/3(上限120万円)を補助することで3か所の新規開設を目標とする。	3,600 【1-3-②で計上】	農政部
		③ 生物多様性保全推進事業	63	生態系、種、遺伝子の3つのレベルの多様性を確保し、生物多様性に配慮したまちづくりを推進するため、「生物多様性・堺戦略」に基づき、体系的な取組を推進します。	情報発信や普及啓発により、生物多様性への理解が深まっている。(市民参加型普及啓発イベント開催回数 3回/年)	○パネル展等でウェブサイト「堺いきもの情報館」のPR活動を行うことができた。 ○インスタグラムの活用を開始し、堺いきもの情報館と連動した効果的な啓発を行った。 ○小学校37校への教材提供及び5校への現場指導により、「小学生によるいきもの調査授業」を促進した。 ○堺市レッドリスト2021・堺市外来種アラートリスト2021を作成(2015年版の改訂)した。 ○新型コロナウイルスの影響で市民参加型イベントを開催できなかったが、堺いきもの情報館ウェブサイトを7回開催し普及啓発を行った。	4,490	3	○各種イベントにおいて生物多様性に係る普及啓発を実施する。 ○ウェブサイト「堺いきもの情報館」を改修し、子ども向けコンテンツ等を充実させる。 ○堺いきもの情報館により情報発信を適宜行い、写真投稿を募集するウェブイベントを実施する。 ○小学生によるいきもの調査授業を実施する。 ○インスタグラムを活用し、ウェブイベントの広報活動を実施する。	4,520	環境保全部
3-2	身近な緑の創出を進めます	① 身近な都市公園の整備	65	市街地の防災特性や周辺の条件、地域住民のニーズなどを考慮しながら街区公園等の身近な都市公園の整備を推進します。	新堀公園の整備工事を完了している。 三国ヶ丘公園の整備を完了している。	新堀公園、三国ヶ丘公園については、平成30年度に整備完了。 菩提公園の基本設計及びそれに伴う測量業務を行った。	1,386	4	菩提公園の整備に向けた実施設計を行う。	5,000	公園緑地部
		② 安全・安心・快適な公園づくり	66	○都市公園における防災機能の強化 地域防災計画上の広域避難地及び一次避難地の機能を有する都市公園のうち開設公園において、防災トイレの整備を順次進めます。また、危機管理部門と連携し、都市公園が担う防災機能の強化を図ります。 ○公園橋の耐震補強 泉北ニュータウンにある公園橋の耐震調査を実施、緊急性や重要度を考慮し、順次公園橋の耐震化に取り組みます。 ○公園のリニューアル 地域の課題や住民ニーズ、ユニバーサルデザインの理念を尊重した公園施設の改修を順次実施します。	○防災トイレを順次設置している。(平成28年度まで39箇所) ○都市公園の防災機能の強化を推進している。 ○公園のリニューアルを順次行っている。	原山公園再整備運営事業において、防災トイレの整備を行った(令和2年度末42箇所)。	1,773,709 【1-5-②で計上】	3	財政状況を踏まえ、令和3年度の実施は見送る。	0	公園緑地部
		③ 小規模な都市公園のパークマネジメント	67	○小規模公園のパークマネジメント計画による管理運営 ・先行的に取り組みが進んでいる、新金岡ブリック公園、鳳公園、戎公園、東雲公園、向ヶ丘公園、浅香山公園、瓦町公園において、モデル公園としてそれぞれに個別公園パークマネジメント計画を策定する。 ・地域力を活かしたマネジメントの仕組みの構築 ・イベントの誘致による賑わいの創出 ・地域住民やNPO法人などとの対話を踏まえ、公園運営を実施 ・モデルとなる公園において利活用の指針やルール、活用イメージを協議し、コミュニティの拠点となる公園運営を実施する。	○個別公園パークマネジメント計画を策定している。(平成29年度0公園→7公園) ○協議会を設置し、計画に沿った管理運営を実施している。 ○市民や地域団体などによるイベントが定期的実施される公園がある。 ○モデルとなる公園において利活用の指針やルール、活用イメージを協議し、コミュニティの拠点となる公園運営を実施する。	○堺市パークマネジメント計画(案)について、パークコメントを実施した。 ○モデル事業として、民間活力を導入する公園に対して、市民アンケートを実施した。	2211 【1-1-③で計上】	2	○堺市パークマネジメント計画を策定する(8月策定完了)。 ○モデル事業として、民間活力導入なども検討する公園について、住民との意見交換会を実施する。	0	公園緑地部

区分	達成状況	事業数	割合(%)
5	計画を大きく上回って進めている	0	0%
4	計画を上回って進めている	1	2%
3	ほぼ計画どおりである	39	95%
2	計画が遅れている	1	2%
1	計画が大きく遅れている	0	0%

緑の基本計画掲載内容

施策番号	施策	事業	頁数	事業概要	達成目標 (目標年度：令和3年度)	令和2年度取組実績	令和2年度 決算見込額 (千円)	令和2 年度末 の計画 達成状 況	令和3年度取組内容	令和3年度 予算額 (千円)	担当部署
3-2	身近な緑の創出を進めます	④ 長期未着手都市計画公園の見直し・整備プログラムの策定	67	長期にわたり事業に未着手となっている都市計画公園について、ガイドラインに基づき評価を行い、必要に応じて都市計画変更を行うとともに、整備の優先度を総合的に判断し、計画的に整備を行うことを目的とした都市計画公園整備プログラムを策定し、効果的かつ効率的に都市計画公園の整備を推進する。	都市計画公園整備プログラムを策定し整備を推進する。	○見直し対象公園について、都市計画審議会に付議し、区域の変更を行った(21箇所)。 ○都市計画公園整備プログラム案の検討を行った。	0	3	○財政状況等を確認しながら、引き続き、都市計画公園整備プログラム案の検討を行う。	0	公園緑地部 都市計画部
		⑤ 民有地における緑化推進	68	都市環境の改善に寄与する記念樹配付等の支援を実施するとともに、堺市宅地開発等に関する指導基準や工場立地法に基づく緑化指導や緑地協定制度を促進することにより民有地における緑化を推進します。	「樹木などまちなかの緑の多さ」に対する満足度70%以上 (平成28年度46.7%)	○工場立地法にもとづく緑化指導 特定工場建設等の届出に対する指導件数16件 ○記念樹配付 配布申請 163件(中木、低木) ○堺市宅地開発等に関する指導基準に基づく緑化指導：開発協議緑化指導 133件 ○「樹木などまちなかの緑の多さ」に対する満足度48.0%(市民意識調査)	388	3	○工場立地法に基づく緑化指導は、引き続き適切な指導を行っていくとともに、敷外緑地制度を運用し、南部丘陵における里山保全活動との連携を図る。 ○記念樹配付事業は、より良い制度の見直しを検討し、広くPRを行い利用者の拡大を図る。 ○開発に伴う緑化指導は、良好な住環境の創出の為、適正な緑化指導を行い、優良な緑化には顕彰制度に推薦する。	495	公園緑地部 商工労働部
		⑥ 風致地区内における開発時の緑化指導	69	「堺市風致地区内における建築等の規制に関する条例」に基づく緑化指導を行い、生活に潤いを与え、緑に富んだ快適な都市環境を維持します。	条例に基づく適正な緑化指導により、快適な都市環境の創出を図る。	風致地区内行為許可 21件 (大仙：13件、浜寺8件)	0	3	条例に基づく適正な緑化指導により、緑豊かな住環境を図る。	0	公園緑地部
		⑦ グリーンカーテン整備事業	69	○グリーンカーテンの整備をします(原則として1校当たり2教室分) ○ゴーヤ等栽培を通じた環境学習の取組をします。 ・緑化体験学習指導計画の作成、緑化体験学習指導計画に基づき栽培記録などの学習活動の実施、児童が室内外気温測定、記録を通じたグリーンカーテンによる気温低減効果の検証 ○生育状況や教室気温の低減効果などの情報を学校ホームページや学校便りなどで発信します。	グリーンカーテンを含めた栽培体験学習等、地球温暖化対策の取組をしている小中学校：全校	○「グリーンカーテン」の栽培を小学校25校、中学校11校、幼稚園8園(計44校園・73教室)で実施した。 ○成果については、各学校のホームページ等で発信した。	819	3	○グリーンカーテンの整備(原則として1校当たり2教室分) ○ゴーヤ等栽培を通じた環境学習の取組 ・環境教育指導計画の作成、・環境教育指導計画に基づき栽培記録などの学習活動の実施、・児童が室内外気温測定・記録を通じたグリーンカーテンによる気温低減効果の検証 ○生育状況や教室気温の低減効果などの情報を学校ホームページや学校便りなどで発信	300	学校教育部
◆ともに緑を育む絆をつくります											
4-1	緑とまちを育む人を育てます	① 人材づくりの充実	73	○人材の発掘・育成 花と緑のまちづくりを担う人材育成や里山保全ボランティア養成講座などを通じて、市域や地域における緑化や緑地保全活動に取り組む人材を発掘、育成します。 ○人材の登録・活用 緑のまちづくり活動に取り組む人材の登録、活用制度(仮称)緑づくり人材バンクを検討します。 ○堺エコロジー大学との連携 堺エコロジー大学と連携し、緑のまちづくり活動を行う人材の育成をします。	○緑地保全活動に取り組む人材を発掘・育成している。 ○堺エコロジー大学と連携し、市民の環境意識の向上を図る。	○里山保全ボランティア養成講座：堺自然ふれあいの森で7~12月で全6回の講座を開催し、4名が修了した。  ○堺エコロジー大学の連携は令和元年度で終了し、緑のまちづくり活動を行う人材育成実績なし。	0	3	○花と緑のまちづくり事業を通して市民ボランティアの方へ花と緑の維持管理や仲間づくりなどの講習を行う。 ○里山保全ボランティア養成講座 令和3年度においても継続して里山保全ボランティア養成講座を開催する。 ○取組なし	0	公園緑地部 環境都市推進部
		② 普及啓発の充実	74	○都市緑化センター運営事業 ・指定管理者制度を活用し、都市緑化の情報発信、緑化植物園として、魅力的な飾花や展示、講習会等を行います。 ○自然ふれあいの森運営事業 ・指定管理者制度を活用し、豊かな自然環境の残された里山において、「森の学校」をテーマに遊び・農・学習・食・散策など人と里山との関わり方を模索するイベントや講習会等を行い、緑地保全の普及啓発を行います。 ○緑の普及啓発 ・市民活動や企業のCSR活動と連携した緑の普及啓発 ・インターネットのホームページや広報活動等により、緑の保全や緑化に取り組む市民活動や企業のCSR活動を発信し、緑の普及啓発を行います。	○都市緑化センター利用者(イベント等)満足度90% ○自然ふれあいの森の利用者(イベント等)満足度90% ○市ホームページ(公園緑地)の年間アクセス数 40万件	○都市緑化センター運営事業：入館者数83,947人(R1:162,297人)、緑の相談件数2,632件(R1:3,188件)、利用者満足度93%(R1:98%) ○堺自然ふれあいの森運営事業：来園者数25,039人(R1 29,238人)、小学校利用者数5校(R1 34校)、利用者満足度96%(R1 94%) ○公園緑地ホームページ年間アクセス数 1.2万件  自然ふれあいの森(秋のむしさがし)	99,612	3	○都市緑化センター運営事業 ○堺自然ふれあいの森運営事業 アフターコロナを見据え、近隣類似施設や企業、教育機関との連携を図り、さらなる利用者数の増加を図る。 ○花と緑のまちづくり事業に参加している市民ボランティアの活動や企業参画による緑地保全活動等について市や(公財)堺市公園協会のホームページにて発信する。 公園緑地部のホームページにおいては現場事務所を含め定期的にホームページに関する意見交換を行い、アクセス数増加につながる検討を行う。	96,912	公園緑地部
		③ 顕彰制度の充実	74	緑のまちづくり活動やその他緑の保全と創出について功績のあった個人、団体及び事業者を表彰します。	○都市緑化基金と緑の保全基金への寄付拡大 ○功績者表彰の対象者の拡大	○現行の顕彰制度において、都市緑化の推進や緑地保全に対し顕著な功績のあった個人や民間団体に表彰を行った。 都市緑化基金協力者(団体4) 緑の保全基金協力者(団体1、個人1) 毎年緑化祭で行われていた表彰式は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。 ○都市緑化基金及び緑の保全基金を統合し「はなみどり基金」となる。(10月)	0	3	○都市緑化の推進や緑地保全に対し顕著な功績のあった個人や民間団体に表彰を行う。	2,919	公園緑地部

区分	達成状況	事業数	割合(%)
5	計画を大きく上回って進めている	0	0%
4	計画を上回って進めている	1	2%
3	ほぼ計画どおりである	39	95%
2	計画が遅れている	1	2%
1	計画が大きく遅れている	0	0%

緑の基本計画掲載内容

施策番号	施策	事業	頁数	事業概要	達成目標 (目標年度：令和3年度)	令和2年度取組実績	令和2年度 決算見込額 (千円)	令和2 年度末 の計画 達成状 況	令和3年度取組内容	令和3年度 予算額 (千円)	担当部署
4-2	緑のまちづくり活動を支援します	① 公園における市民活動への支援	77	<p>○緑のまちづくり活動団体認定制度の活用 緑地の保全・回復、緑化推進を行う市民を緑のまちづくり活動団体として認定し、自主的かつ継続的に緑のまちづくり活動が実践されるように促します。</p> <p>○公園における愛護活動への支援 市民による公園の清掃や除草など、公園管理における愛護活動を支援します。</p> <p>○公園における市民活動への支援 大仙公園における平成の森づくりや堺自然ふれあいの森における里山公園づくりなど、公園における市民活動への支援を行います。</p> <p>○持続可能な活動への支援 市民が自発的に活動できるよう、情報提供をはじめとする自立支援を行います。</p>	○市民活動を行う団体の拡大（緑化資材等を支援した団体数平成28年度 62団体→72団体） ○愛護会活動について広く多様な市民が参加できる仕組みが構築でき、持続可能な愛護会制度となっている。	○みどり活動支援…67団体、緑化資材の配布2回/年（9月、3月） ○公園愛護会活動…活動資機材の支援（清掃用具の貸出し）など、愛護会が自主的に管理できるよう支援を行い、持続可能な愛護会制度を構築するため、クリーングリーン運動など啓発イベントを行った。また、今まで行っていた愛護委員個人への委嘱を改め、活動いただいている方々を一つのグループとして団体登録する制度へと変更を行った。そのことにより、永年表彰を受けるための期間が、今までの25年（功績者表彰）と30年（特別功績者表彰）が5年（功績者表彰）と15年（特別功績者表彰）に短縮され、活動者のモチベーションアップにつながり、結果として持続可能な制度へと変更することができた。	148,090	3	○引き続き活動に欠かせない資材等の支援を行っていくとともに、市民のみならず企業等の活動を促進し、花と緑のまちづくり活動を進める。 ○区運営委員会や校区交流会等を実施し、公園愛護精神の普及に努めて、自主的な活動（清掃用具の貸出しなど）を支援する。	143,109	公園緑地部
		② 公共的空間における緑のまちづくり活動への支援等	78	<p>○花と緑の市民協働事業への支援 市民の花と緑の地域緑化活動のサポート及び市民協働事業を支援します。</p> <p>○緑のまちづくり活動への支援 公共施設や道路に面したオープンスペース等の公共的空間において市民が取り組む緑のまちづくり活動への支援を行います。</p> <p>○企業の参画による緑のまちづくりの推進 CSR活動（社会貢献活動）を行う企業と連携・参画し、主要な駅前の花壇の維持管理など、緑のまちづくり活動を進めます。</p> <p>○持続可能な活動への支援 市民が自発的に活動できるよう、情報提供をはじめとする自立支援を行います。</p>	○市民活動を行う団体の拡大（緑化資材等を支援した団体数平成28年度 62団体→72団体） ○CSR活動に取り組む企業と連携・参画した緑のまちづくり活動の実績がある。	○みどり活動支援…67団体、緑化資材の配布2回/年（9月、3月） ○花のボランティア活動推進…会員数417人、花苗生産数約6.1万株、花づくり活動2回/年（春まき、秋まき）	5,584	3	○引き続き活動に欠かせない資材等の支援を行っていくとともに、市民のみならず企業等の活動を促進し、花と緑のまちづくり活動を進める。	8,159	公園緑地部
		③ 区民まちづくり基金活用事業	79	<p>区民まちづくり基金を活用した線に関するまちづくり活動をそれぞれの地域の特徴を活かして展開します。</p> <p>【※補足※】 令和2年10月5日に区民まちづくり基金廃止</p>	<p>（堺区）住民による花と緑による潤いのある生活環境づくりを支援し、区の特徴ある美しいまちづくりに寄与する。</p> <p>（中区）花いっぱいのみち” 中区“をめざし、圃場で育てた花苗を地域や公園等に配布・花植えすることにより地域コミュニティを生み出す。</p> <p>（南区）環境美化の促進と環境教育の推進、住民の交流と連帯意識の高揚まちづくりへの住民参加とボランティア育成、生きがいと心の豊かさの実感</p> <p>（北区）人の心とまちに潤いを与える花や緑を増やす。</p>	<p>（堺区）平成30年度で事業終了</p> <p>（中区）新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため ○花苗の地域への配付 ○花と緑の講演会の開催 ともに中止</p> <p>（南区） ○各校区での花壇維持活動（水やり・植え替え） ○推進協議会定例会議・講習会 ○「みみちゃん花壇」（南区役所前）の植え替え作業</p> <p>（北区）令和元年度で事業終了。</p>	<p>（堺区）0</p> <p>（中区）0</p> <p>（南区）2,775</p> <p>（北区）0</p>	3	<p>（堺区）-</p> <p>（中区） ○花苗配付株数（目標2,500株以上/年） ※春の花苗配布については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止</p> <p>（南区） ○各校区での花壇維持活動（水やり・植え替え） ○推進協議会定例会議・講習会 ○「みみちゃん花壇」（南区役所前）の植え替え作業</p> <p>（北区）-</p>	<p>（堺区）0</p> <p>（中区）224</p> <p>（南区）2,915</p> <p>（北区）0</p>	堺区役所 中区役所 南区役所 北区役所

令和2年度における堺市緑の基本計画に係る各取組事業の進捗状況

資料1-1

緑の基本計画掲載内容

区分	達成状況	事業数	割合(%)
5	計画を大きく上回って進めている	0	0%
4	計画を上回って進めている	1	2%
3	ほぼ計画どおりである	39	95%
2	計画が遅れている	1	2%
1	計画が大きく遅れている	0	0%

施策番号	施策	事業	頁数	事業概要	達成目標 (目標年度：令和3年度)	令和2年度取組実績	令和2年度 決算見込額 (千円)	令和2 年度末 の計画 達成状 況	令和3年度取組内容	令和3年度 予算額 (千円)	担当部署
4-3	緑のまちづくりを支える仕組みをつくりまします	① 基金事業の充実と財源の確保	81	<p>○都市緑化基金事業の見直し 地域の緑のまちづくりの資金となる堺市都市緑化基金を活用した、緑化事業を計画的に見直し、質の高い緑化活動を推進します。</p> <p>○緑の保全基金の活用 堺市緑の保全基金を活用し、緑地保全活動に取り組む活動者への支援を行います。</p> <p>○基金の財源の確保 緑の保全基金や都市緑化基金について、ふるさと納税や募金活動、企業CSR活動との連携により、市民、企業の支援を得て基金の増資に努めます。また、より多くの市民、企業への効果的なPRに努めます。</p>	基金への寄付の増資	<p>○ホームページにより基金事業について説明し、寄付を募集する。基金事業をPRするためのパンフレットの作成を行った。都市緑化基金の啓発及び都市緑化事業の活動報告等を広く市民に啓発するため、「緑の瓦版」を年2回発行し、効果的なPRを行った。</p> <p>○ふるさと納税や企業との連携などにより、寄付を受けた。</p> <p>都市緑化基金 1,841千円(個人:3名、企業等:13社) 緑の保全基金 469千円(個人:5名、企業等:4社)</p> 	545	3	○はなみどり基金について、ふるさと納税や募金活動、企業CSR活動との連携により、市民、企業の支援を得て基金の増資に努め、効果的なPRを進める。	693	公園緑地部
		② 多様な主体による緑のまちづくりの推進	82	<p>○市民、企業、大学、行政の多様な主体が連携、参画による緑のまちづくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と大学との共同研究 ・市による積極的な市民や企業への情報提供、情報共有を図り多様な主体が緑のまちづくりに参画しやすい環境づくりを推進します。 ・緑地保全、緑化推進法人制度の活用により、民間団体や市民による自発的な緑地の保全、緑化を推進します。 	緑のまちづくりについて多様な主体が連携・参画した実績がある。	<p>○「堺市緑の保全と創出に関する条例」に基づき、土地所有者と協定を結んでいる保全緑地において、毎年市民や企業と協力して実施している堺の森再生プロジェクトは、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。</p> <p>○平成27年度より敷地外緑地制度の運用を行っている。</p>  <p>堺の森再生プロジェクト(令和2年度)</p>	0	3	○制度を活用した企業との関わりを継続することや緑地保全の啓発イベントの開催により、緑地保全事業への企業参画を促す。	1,683	公園緑地部
令和2年度決算見込額合計							7,657,795		令和3年度予算額合計	3,028,180	

※新型コロナウイルスの影響により実施できなかった事業については、昨年度の実績や事業の特性に鑑み、単純に実施していないから、1評価や2評価としないものとする。
 全体的に事業の進捗が見られるものについては、3評価(ほぼ計画通り)とする。
 ※担当部署欄については、本計画策定時の担当部署を基本としているが、所管の追加・変更等があった際は()書きにて表記する。